

西穂高岳山行報告書

(山城) 北アルプス南部

(コース) 新穂高～西穂山荘～独標～(山頂)

(日時) 3月4日(金)夜発、3月5日(土)～6日(日)

(天候) 5日曇り、6日晴れ

(参加者) CL 田中、SL 佐藤、吉瀬、時田(記録)

(山行タイム)

3月5日 9:00 西穂高ロープウェイ＝9:50 山頂駅＝11:10 西穂山荘
13:50 独標(雪山講習)＝15:00 下山開始＝16:30 西穂山荘
3月6日 8:20 西穂山荘＝9:30 山頂駅＝10:30 駐車場

(山行報告)

3月4日

市原からの3人は、時田車にて千葉植草学園前で佐藤車に乗り換え出発する。小屋泊とはいえ冬山の装備は嵩張りぎゅーぎゅー詰めの状態だ。

首都高から中央道と順調に進む。途中コンビニに立ち寄り今夜の寝酒を調達し、先週末に通った釜トンネルあつという間に通過、安房トンネルを抜け西穂ロープウェイ駐車場に到着した。

既に駐車場にはかなりの車が入っておりテントを張るスペースはなさそうだ。

車の中でワンカップで乾杯！明日に備えてシートを倒し早めに就寝。

3月5日

7時起床し各々身支度を整える。ロープウェイの一番車に乗る為早めに列に並んだ。直ぐ後から観光バスツアーの団体が来た。危ない所だった！Tさんの機転のお陰で予定どおり一番車に乗れスムーズに山頂駅に到着した。

事前の天気予報より低気圧の進みが早く空はどんよりしている。憧れの西穂高は見えるのかしら？山頂駅前はツルツルの状態、アイゼンを付け出発だ。

しばらくは観光客向けに雪の回廊が続く、この辺りからは雪も締まりアイゼンがよく効く。ガスっていて不安は募るばかりだ。また例年よりもかなり雪も少ないとはいえ雪山初心者な私やKさんには十分な量だ。

アイゼンの歩き方、ピッケルの使い方などを習いながら登って行く。汗をかかないようにゆっくり登るのだそうだ。身体を汗で冷やさないとということ、素手で作業しないこと、寒いと感じたら何か口にする、こう言うひとつひとつが為になりました。ありがたいことに風も無く暖かい。小屋迄は急登が続き、息も上がりどうにか到着。

トイレ、休憩を済ませここからが今回の核心部、小屋にザックを預けサブザックで独標へと歩みを進める。

しかし、ガスは更に濃くなり目指す前方は殆ど見えていない。トレースもしっかり付いていて足元は大丈夫そうだ、慎重に足を進める。

丸山の少し手前で冬羽の雷鳥を発見した、人を怖がったり逃げる事もなく雪の下の這松の実を啄ばんでいる。とても可愛い！健気な雷鳥に元気をもらい足を運ぶ。



躓いたり、アイゼンを引っかけたりしないように緊張感を待って登って行く。独標近くまで来ると気温も下がり髪やニット帽にも小さなツララが付いてきた。独標直下でTさんのご指導のもとでロープを使う。安全確保で独標へ登頂！！



タイム、天候、体力総合的な判断で、『今回は独標に立ちそして一歩前に進もう！』と決め、独標の先でセルフビレー、登行下降のスリング使用によるビレーの講習を行いました。



急斜面で足場の悪い中、悴んだ手が思うように動かずカラビナにスリングを掛けるのに時間がかかってしまいお待たせしてしまいました。不甲斐なく、涙も鼻水も出ました。そんな私を暖かく待って『がんばれ！』と、言ってくれたお仲間感謝です。

約1時間の講習を終え独標を後に名残りおいしいけれど下山です。またいつか西穂高山頂まで必ず行きたいと思いながら。

私たち一行が小屋に着いた頃には、早く到着した登山客がワイワイと談話室で盛り上がっていました。大急ぎで荷物整理を終え、私たちも祝杯をあげました。

緊張の後には清々しい気持ちでいっぱい気分も高まりました。程なく夕食のアナウンスがあり、飲みかけのお酒を手に食堂へ。疲れた身体に熱い豚汁や美味しいご飯が癒してくれました。登山暦51年のTさんの山を愛する話を聞きながら、私は次はどんな挑戦ができるのかと想いをめぐらせました。



部屋は8人部屋で2パーティ、明日早い出発らしく既に就寝。私たちも昨夜は車中泊の疲れもあり、早めの就寝としました。

3月6日

昨夜の就寝が早かったので、二度寝の私は朝食のアナウンスまで目覚めず慌てて飛び起き食堂へ。今日も元気にご飯がうまい！みんなお代わりして大満足です。

身支度を整えて小屋から出てみると思っていたより空が明るいので、少しだけ登って写真撮影。昨日は足元しか見えていなかった景色が広がっていました。正面は焼岳、昨日の独標、下を見おろせば大正池もキラキラ光っています。

撮影会を終え、小屋でコーヒブレイク。

後ろ髪を引かれつつ、小屋を後に下山です。途中、振り返ると雲の切れ間から西穂高山頂も伺えました。

Tさんの山の唄をBGMに最後まで気を抜かず慎重に下りました。

車に戻り、平湯温泉ひらゆの森で汗を流します。ワンコインでたくさんの露天風呂がありとても綺麗。私とKさんは大はしゃぎで露天風呂へ、するとヒヤリハット！白濁したお風呂の深さが分からず二人してコケ、岩風呂で滑落！その悲鳴を男風呂のTさん、Sさんに聞かれてしまいました。あ〜B型ママ友コンビ・・・

その後は、美味しい蕎麦と朴葉焼き定食を頂き、千葉へ戻りました。

今回の山行でご指導いただいたTさん、怖いと思っていた穂高へTさんが居て下さる安心感で行くことができました。本当にありがとうございました。

Sさん、もっと先まで行けたはずなのにお付き合い頂きありがとうございました。

ママ友Kさん、チン道中またよろしくね。

